令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工　業	科目	電力技術	単位数	2	学年	2	科	電気科

１、科目の目標

我が国における電力系統の基本的な構成・理論を学ぶことにより、発電機、変圧器、送・配電系統である交流回路の知識を、より実際のものとしてとらえ理解を深める。また、社会の一員として今後のエネルギー政策や環境問題について関心を持ち、自発的に考え行動できる姿勢を養う。

２、使用教科書・副教材

実教出版　電力技術１　新訂版

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	屋内配線 ・自家用電気設備 ・屋内配線 電気に関する法規 ・電気事業法 ・その他の電気関係法規	中間考査 期末考査	２０
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	配電 ・配電系統の構成 ・配電線路の電気的特性	中間考査 期末考査	２８
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	発電 ・エネルギー資源と電力 ・水力発電 ・火力発電 ・原子力発電	期末考査	２２

４、評価の方法

学習評価	学習の成果	定期テストの得点を評価する。	
		Google Classroom を利用した課題への取り組み状況と、成果を評価する。	
		ノートおよび学習ファイル等を提出し、その内容を評価する。	
	観点別評価	観点⑴：知識・技能を評価する。	観点別評価の内容は、別紙：「評価の観点の趣旨」Ｅ９による。
		観点⑵：思考・判断・表現を評価する。	
		観点⑶：主体的に学習に取り組む態度を評価する。	

５、学習にあたっての注意とアドバイス

授業中に集中して取り組み、疑問点については早めに解決するように配慮する。
自学自習、基礎計算力を大切にする。ノートの取り方、整理等の努力ある姿勢も評価する。
エネルギー問題や環境問題などの新聞やニュース報道等に関心を持ち、授業内容と照らし合わせて自分なりの考えをまとめる。
協働学習を通じて対話的な学びを行い、主体的に課題解決できる能力を身に付ける。